

幼児の運動能力，土踏まず，重心動揺の検討

— 運動能力上位群と下位群に分類して —

宗高弘子（就実大学）

The Relationship between Gravity Center Movement and Infant Children's
Physical Development and Functions. :
A Comparison between Children With and Without Good Physical Abilities

Hiroko MUNETAKA (Shujitsu University)

抄 録

近年子どもたちの運動能力が低下傾向にあると言われている。保育園の3歳から5歳児クラスを対象に運動能力，土踏まず，重心動揺を測定した。6年間，年2回の測定結果より，運動能力上位群（25%），運動能力下位群（25%）にわけ，運動能力上位群が下位群よりどの分野や内容で優位かを検討した。その結果，運動能力ではバランスの能力に男女共に有意差が見られ，土踏まずの形成では男女共に有意差が見られ，重心動揺では開眼重心動揺面積の男児に有意差が見られ，いずれも運動能力上位群が下位群より優れていたことが判明した。

キーワード：保育園児，運動能力，土踏まず，重心動揺